



## 雲の上に、どうして乗れないの

### 雲は小さな水や氷のつぶからできている

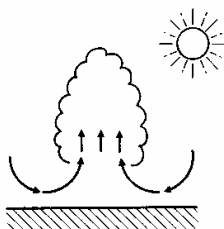
雲は、空気中の水蒸気が冷やされて小さな水や氷のつぶになり、それがたくさん集まったものです。これらのつぶは、ふつう、直径が0.01~0.02ミリメートルぐらいしかありません。雲ができるのは、水蒸気をふくんだ暖かい空気が、上空に向かううちに、温度が下がり、水蒸気が冷やされて、小さな水や氷のつぶに変わるからです。

雲は、上空に向かう空気の流れ（上昇気流）によってふき上げられるので、落ちることなく、空高くうかんでいるのです。雲は小さな水や氷のつぶの集まりですから、その上に乗ることはできません。

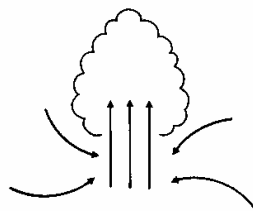
### 霧は雲と同じもの

ふもとから見たとき、山に雲がかかっていたが、登ってみると、そのあたりは一面の霧だった、という体験をしたことがありますね。霧と雲は同じものです。ふつう、地上付近にあるものを霧、上空にうかんでいるものを雲とよんでいます。（監修・村山 貢司）

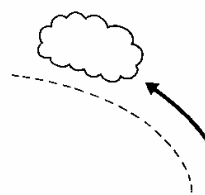
### 水蒸気をふくむ空気が上がって冷やされたとき、雲ができる



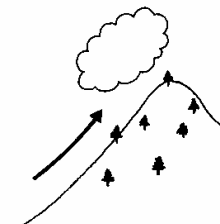
太陽の熱で暖められて上がる



気圧の低いところにふきこみ、上がる



暖かい空気と冷たい空気がぶつかって、暖かい空気が上がる



山をこえるとき、空気が上がる

